

メソトレキセート錠 2.5mg

【この薬は？】

販売名	メソトレキセート錠 2.5mg METHOTREXATE TABLETS 2.5mg
一般名	メソトレキサート Methotrexate
含有量 (1錠中)	2.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗がん剤のなかの代謝拮抗剤（葉酸代謝拮抗剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細胞のDNA（デオキシリボ核酸）合成に必要な活性型葉酸を作る酵素の働きを妨げ、がん細胞増殖を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解

急性白血病

絨毛性疾患（絨毛癌、破壊胞状奇胎、胞状奇胎）

慢性リンパ性白血病

慢性骨髄性白血病

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にメソトレキセート錠に含まれる成分で重篤な過敏症のあった人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・胸水、腹水などのある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・骨髄機能抑制のある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
 - ・B型またはC型肝炎ウイルスキャリアの人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用する前に血液検査で、肝炎ウイルスに感染しているかどうかを確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔白血病の場合〕

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

	幼児	小児	成人
1日量	1 / 2～1錠	1～2錠	2～4錠
回数	1週間に3～6日飲みます		

〔絨毛性疾患の場合〕

通常、成人は、1日4～12錠を5日間連続して飲み、その後7～12日間は休みます。これを1クールとして繰り返すことがあります。ただし、医師があなたの症状や副作用の様子を診ながら、飲む量や飲む期間を変えたり、休み期間を変えたりすることがあります。医師の指示を守ってください。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとばして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・血液障害や消化管障害（発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ、胸やけ、吐き気、嘔吐（おうと）、吐いた物に血が混じる（鮮紅色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、黒い便が出る）があらわれることがあり、死亡にいたったとの報告もあります。誤って多く飲んでしまったら、ただちに受診してください。
- ・過量使用の治療薬としてホリナートカルシウム（ロイコボリンカルシウム）があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により骨髄機能の低下、肝・腎機能障害などの重篤な副作用がおこることがあるので、使用中は頻回に血液、肝臓、腎臓、尿などの検査が行われます。受診日を守ってください。
- ・消化管障害がおこることがあるので、口内炎、激しい腹痛、嘔吐、下痢などの症状があらわれた場合には使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。
- ・感染症、出血傾向（歯ぐきからの出血、出血が止まりにくい、あおあざができる、鼻血など）の症状、発熱、倦怠感（けんたいかん）があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン[麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）、BCGなど]の接種はできません。接種の必要がある場合には主治医に相談してください。
- ・光線過敏症（日光のあたる部位に痒みや痛みを伴う発疹や、水ぶくれができやすい。日焼けをした場所が傷痕になったり、色がなかなか消えない。）があらわれることがあるので、この薬の使用中は、適切な日焼け防止対策を行い、日光または紫外線を避けるようにしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
骨髄抑制 こっずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
感染症	発熱、寒気、体がだるい

重大な副作用	主な自覚症状
かんせんしょう	
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
尿細管壊死 にょうさいかんえし	尿量が減る、むくみ、体がだるい
重症ネフロパチー じゅうしょうネフロパチー	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肺線維症 はいせんいしょう	咳、息切れ、息苦しい、発熱
胸水 きょうすい	息苦しい、息切れ、咳、胸の痛み
中毒性表皮壊死融 解症 (Toxic Ep i d e r m a l N e c r o l y s i s : T E N) ちゅうどくせいひょうひえ しゅうかいしょう(トキシッ クエピダーマルネクロリシ ス:テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens - J o h n s o n 症候群) ひふねんまくがんしょうこ うぐん(スティーブンス・ ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
出血性腸炎 しゅっけつせいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ
壊死性腸炎 えしせいちょうえん	突然の激しい腹痛、血が混ざった下痢、お腹が張る、嘔吐、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中への痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

重大な副作用	主な自覚症状
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	骨折しやすい、腰・背中の痛み、手足の痛み、背が低くなった、背中が丸くなった
脳症（白質脳症を含む） のうしょう（はくしつのはうしょうをふくむ）	意識の低下、意識の消失、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる
進行性多巣性白質脳症（PML） しんこうせいたそうせいはいはくしつのはうしょう（ピーエムエル）	けいれん、意識の低下、意識の消失、しゃべりにくい、物忘れをする、手足のまひ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、寒気、出血が止まりにくい、体がだるい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、むくみ、体重が減る、骨折しやすい、背が低くなった、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、動作が鈍くなる
頭部	めまい、意識の消失、頭が重い、急な意識の低下、意識の低下、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、物忘れをする
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、喉の痛み、歯ぐきからの出血、血を吐く、咳、唇や口内のただれ、嘔吐、吐き気、喉が渴く、口のもつれ、しゃべりにくい
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、胸の痛み
腹部	お腹が張る、激しい腹痛、突然の激しい腹痛、強い腹痛
背中	背中の痛み、腰・背中の痛み、背中が丸くなった
手・足	手足が冷たくなる、手足の痛み、歩行時のふらつき、手足のまひ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、血が混ざった下痢、油っぽい下痢が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿量が増える
その他	高血圧

【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤（素錠、割線入り） 
直径	6.4 mm
厚さ	3.1 mm
色	わずかにまだらをもつ淡黄褐色
識別コード	LL M1

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メトトレキサート
添加剤	トウモロコシデンプン、部分アルファー化デンプン、乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、pH調節剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

メディカル・インフォメーション（患者さん・一般の方）

電話：0120-965-485

受付時間：月～金 9時～17時30分

（土日祝日および弊社休業日を除く）